

汚水処理施設整備交付金 事後評価シート

第2期 自然・歴史環境との共生づくりやすらぎプラン

平成27年6月
岐阜県垂井町

地域再生計画「第2期 自然・歴史環境との共生づくりーやすらぎプラン」事後評価

1. 地域再生計画の目標達成状況について

目標1: 汚水処理施設の整備促進(汚水処理人口普及率を62.8%から74.3%に向上)

【汚水処理人口普及率】

従前値			実績			事後評価(◎、○、△にて評価)	
平成22年度	62.8	%	平成26年度	65.3	%	○	

総合所見

下水道整備工事については、ある程度計画通り整備促進を図ったが、区域内の排水整備工事の遅れにより、汚水処理人口普及率の目標値を達成出来なかった。今後区域内の排水整備工事の促進を図っていく必要がある。また、下水道の計画区域外は合併浄化槽の設置の推進を図ってきたが、下水道認可区域の拡大と消費税の増税などにより計画設置基数を下回った。

年度	下水道				浄化槽		汚水処理人口(人)		備考
	整備延長(m)		整備面積(ha)		浄化槽設置基数(基)		計画	実績	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績			
平成22年度	5,800	3,145.2	-	16	76	53	-	17,575	地域再生計画において、汚水処理人口は5年間で公共下水道で2,130人、浄化槽(個人設置型)で1,100人の増加を見込んでいたが、見込みを誤った。
平成23年度	5,800	2,554.1	-	11	76	50	-	17,715	
平成24年度	5,800	734.8	-	5	76	50	-	17,855	
平成25年度	5,800	1,500.9	-	10	76	60	-	18,023	
平成26年度	5,800	7,191.1	-	35	76	42	-	18,590	
合計	29,000	15,126.1	-	77	380	255	3,230	1,015	

※汚水処理人口の合計については新規処理人口を表示

【総合評価と今後の方向性】

下水道整備工事については、ある程度計画通り整備促進を図ったが、区域内の排水整備工事が遅れている。今後は、汚水処理人口普及率の向上のため、区域内の排水整備工事の啓発、促進を図っていく必要がある。また、促進を図ると同時に浄化センターの増設を計画的に進めていきたい。

合併浄化槽設の設置については、平成22年より下水道の認可区域が拡大されたこともあり、新規申請数が頭打ち傾向となり、設置件数が伸び悩む結果となった。今後も更なる汚水処理人口普及率の向上を目指し、普及啓発に努めていきたい。

目標2: 歴史的文化的財を活用し、観光客を誘致(観光客年間 51万人(平成20年)を55万人)

【年間観光客数】

従前値			実績			事後評価(◎、○、△にて評価)	
平成20年度	51	万人	平成26年度	49	万人	△	

※観光客数は南宮大社発表参拝者数と産業課集計分(ふれあい垂井ピア、垂井祭り、相川桜祭り)の累計

総合所見

年間観光客数は、祭りやイベントが中心であり、天候に左右されやすい。平成26年度は大きなイベント時に天候が悪かったため、あまり人数が伸びず、目標達成に至らなかった。

【総合評価と今後の方向性】

垂井町には観光化が可能な歴史的文化的財が多数あるが、有効に活用できていないのが現状である。今後効果的に対外PRを行っていくために、町としてどこに力を入れていくかを、客観的なデータを基に検討していく必要がある。

2. 垂井町文化財保存活動事業について

計画：垂井町の区域内に所在する文化財のうち重要なものを垂井町文化財にして、その保存のため適当な措置を行う者に対し、管理、補修等保存に要する経費の一部を補助

総合所見

年度	垂井の泉保存会 補助金額等(円)	表佐ハリヨ保存 会補助金額(円)	実施状況の検証
平成22年度	20,000	20,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。
平成23年度	20,000	20,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。
平成24年度	20,000	20,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。
平成25年度	20,000	20,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。
平成26年度	20,000	20,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。
合計	100,000	100,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。

※垂井の泉保存会の保存活動は委託事業で実施。
表佐ハリヨ保存会は補助事業で実施。

【総合評価と今後の方策】

垂井の泉は保存会による環境整備活動などにより、観光地として良好な環境が保たれている。近年ではテレビ番組などでもたびたび紹介され、地域再生計画実施以前に比べても多数の観光客を誘致している。泉周辺の環境整備については引き続き垂井の泉保存会へ委託事業として行っていくことで垂井の泉の環境を守っていく考えである。

また、表佐の湯壺周辺では、保存会の環境整備活動が実を結び、毎年行っている生息調査の結果ハリヨの個体数の増加が見られる。また、この良好な水質の水を利用してホテルを育て、地域の人々が集うホテル祭を実施している。今後とも保存会による環境整備活動を継続し、地域住民の憩いの場として活用できるように良好な環境を保持していく考えである。